

9月の掲示板より

「月見？地球見？」

「一視点を変えると世界の見え方が変わる」

満月は一年に何度もありますが、やはりお月見といえば秋でしょう。今月の掲示板装飾は、お月見をテーマにしました。地球の住人はお月見をして、「月の模様がうさぎに見える」と言っているかもしれませんが、反対に月のうさぎが地球を見ていたら・・・と想像して表しました。視点を逆転させて発想すると、新しい世界が生まれそうですね。6年生の図画工作で描いた「もう一つの世界」の絵は、そんな発想から生まれた作品です。他の学年のみなさんにも紹介しますね。



ききょう 桔梗
ききょう はな 桔梗の花



きく 菊



なし 梨



あおがき 青柿

※和菓子は、季節を取り入れたものが多いです。秋の七草にも入っている桔梗の花。9月9日の重陽の節句に欠かせない菊の花をイメージしています。また、栗や柿などの果物をイメージしたものも見られます。他にはどんな和菓子があるか、見つけてみましょう。



「秋の七草」

画面の左下には「秋の七草」を配置しました。萩、尾花、葛、撫子、女郎花、藤袴、桔梗です。

コスモスは秋の七草ではありませんが、背景の宇宙(Cosmos)にかけて、八番目の秋の草として入っています。

「秋の七草を覚えてみましょう！」

- ①5・7・5・7・7の音で歌うように「ハギ・キキョウ クズ・フジバカマ オミナエシ オバナ・ナデシコ 秋の七草」
- ②語呂合わせで「オスキナフクハ(お好きな服は?)」(オミナエシ/スキ/キキョウ/ナデシコ/フジバカマ/クズ/ハギ)

【意味】
幼い我が子が、十五夜の月を「取ってちょうだい」とねだって泣いている。幼子の無邪気な様子をかわいく思う気持ちだが、「かな」で、余韻として伝わってきます。
小林一茶は、小さな子供や、身の回りの生き物たちへの優しく愛情にあふれた句を多くつくりました。高学年のみなさんは、他の句も調べてみましょう。

【月見の俳句】
名月を取ってくれろと
泣く子かな
小林一茶



新宿門横の掲示板にあります。
令和2年9月 図画工作科 竹内とも子